

3 彭祖の滝

高さ約30mの三段滝です。旅人は高平の森が育んだ清水に喉を潤したと言われています。彭祖とは、中国の仙人の名で、大変長生きをしたと伝えられています。



4 亀石

高平の山の主と言われた1匹の亀が、天明の大飢饉により、餌と水を求めて山を下りてきました。見つけた水たまりに飛びついで水を飲んだ瞬間絶命したと言われています。約1万年生きたであろうこの亀は、そのまま化石となっています。



5 落石

弁慶が一荷(天秤棒の両端にかけ1人で肩に担える荷物)にして岩を2つ運び、深と八幡美生へ落としたという伝説があります。



6 辻堂

深から八幡へ続くこの道は、海と陸を結ぶ重要な交通路で、旅人は疲れた足を辻堂で休めたといいます。



7 延命の泉

奈良時代、和気広虫(法均尼)が、備後国に流され、御調八幡宮へ至る際、この泉に顔を写し、汗をぬぐつたと言われ、この水を飲むと長生できると伝えられています。



8 法均尼の足跡

神護景雲3(769)年、和気清麻呂、広虫が大隅に流される途中、疲れた足を石の上に置き、形として残ったと伝えられています。

医王山田屋城跡と深町の歴史

三原市と尾道市のちょうど境目にある、医王山。

室町時代応安2年(1369年)石原右衛門頼元が、足利三代將軍義満に、備後國御調郡木頃庄地頭職を任せられました。石原氏は医王山田屋城を居城としていたと言われ、230年間君臨していました。医王山は標高197mあり、頂上からは深町全体を見渡すことができます。



からかわ

珍しいイチョウ発見！～千川神社～



ラッパイチョウ

元和2年(1616年)深町に創建。
八幡神と大山祇神が祭ってあります。鳥居をくぐった参道の脇には、1本のイチョウが立っています。このイチョウは、葉がラッパのような形をしている、大変貴重な品種です。境内にあるイチョウの葉は扇形をしていますので、見比べてみましょう。



●発行

三原市生活環境部 生活環境課
〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号
電話 0848-67-6194 FAX 0848-67-6164
E-mail seikatsukankyo@city.mihara.hiroshima.jp

深の森

MIHARA

—里山の自然 深町—

FUKANOMORI nature trail guide



医王山



深町／中国自然歩道

三原駅西口から如水館方面のバスに乗り、大池下で下車。県道55号線を尾道方面に向かって歩き、左手の小道に入ります。そこから約3km歩くと、左手に見える高平ダム。さらに歩みを進めた先に見えるのは、高平橋という小さな赤い橋。高平橋を渡ると、中国自然歩道の案内板が出迎えてくれます。



この中国自然歩道は、尾道市の竜泉寺ダムから三原市深町を通り、八幡町美生まで続く、高低差約200mの自然歩道です。

自然豊かな深の森は、季節によって様々な植物を咲かせます。森を流れる川は美しく、鳥のさえずりも聴こえてきます。また、深の森には多くの伝説が残つておる、歴史の片鱗をうかがうことができます。自然散策をしながら、古の声を聴いてみましょう。

【注意】

中国自然歩道の植物は、採取できません。中国自然歩道を歩くときは、長袖・長ズボン・滑りにくい靴・帽子を着用し、ハチの安全対策のため黒い服装は避けましょう。

歴史に思いを馳せながら自然を愛でよう

中国自然歩道



深の森の植物



深の森 散策スポット

1 桜滝

落差約50mの滝です。この一帯に山桜が多かつたので、桜滝という名がついています。

2 盜人の釜

この道は、久井今津野八幡方面から尾道へ通じる重要な交通路でした。盗人がこの岩窟に隠れて道行く人々を襲つたと伝えられています。